

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 3月 12日

事業所名 キッズサポートクラブあしたば

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			・広いプレイルームでのびのびと過ごせている。	・時間帯により滞在する児童数が増減するため、活動内容や時間帯によって、個室と大部屋を適宜有効的に活用していきたい。
	2 職員の配置数は適切である	2	2		・送迎の遅れが出た際に、最低限の基準配置とならないように、普段から基準配置に大幅な余裕を持たせている。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		3	1	・車いす用スロープなし、階段あり ・全面バリアフリーにはなっていない。	・アバウトを使用しており、生活面で出てくる小さな段差や音響面(声)等に改善の必要がある。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4			・定期的に行っている。	・常勤職員間で日々行っているミーティングでの活動や支援の振り返り・改善提案を、今後は非常勤を含む全職員でも実行し、支援の向上に努めていきたい。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	2		・保護者の意思を吸い上げ改善努力をしている。	・アンケートだけでは把握しきれない保護者のニーズを、各職員が保護者との直接の関わりの中で吸い上げられるよう努力していきたい。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2		2	・会報では自己評価の結果を公開していない。 ・一昨年より、ホームページにて公表中。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1		3		・第三者による評価を今後取り入れていきたい。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	1	2	1	・面談や個別指導、チームでのケース検討は適宜行っている。 ・研修の機会は多く設けられている。	・外部開催の研修の場合、業務時間外の参加となってしまうこともあり、参加しやすい体制を整えていきたい。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	1		・アセスメントをとり、それぞれにあった計画をたてている	・個別支援計画の中間評価と終期評価の時期だけではなく、日頃の関わりの中からも児童や保護者のニーズや課題の分析ができるよう、努めていきたい。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1		・必要に応じて導入を検討している。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	3	1		・各担当者が素案を立てて、チームで精査している。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	2	2		・週で重ならないように組んでいる。	・児童の成長や変化暗殺するために、あえて同じ活動を繰り返す機会もあるが、児童の成長や状況に応じて活動内容も発展させていきたい。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	2		・休日の利用時間が長い時には、平日にできない支援を行っている。 ・休日、長期休みなどは、普段よりも多めに学習時間を取る等している。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4			・子どもの状況に応じて作成できている。 ・個別活動と集団活動の両方の活動を基本として、日々提供している。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			・出勤時間帯毎に、各自タイムテーブルを確認し、担当者とのミーティングでも情報の共有を図っている。 ・その日の児童の状況に応じた支援方法や対応が取れるよう話し合いを行っている。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4			・共有事項は毎日シートにて職員間で確認している。 ・職員の勤務時間が統一ではないため、当日と前日に分けて支援の振り返りや改善提案を行っている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			・記録が溜まらないよう翌日までには記載している。 ・日々の児童記録を、主に個別支援計画の課題に対しての様子を記録することで、個別支援計画の評価としている。	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			・定期的にモニタリングを実施し、職員間でも共有しながら見直しを行っている。 ・モニタリングで共有した家庭や学校での様子を職員間で共有することで、より良い計画作成にも繋がっている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	3	1		・これまで少し弱かった地域交流の機会としては、ボランティアを受け入れたり、地域の施設を積極的に利用するようにしている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			・関わりの多い職員から情報を聞き、主に現場責任者やサービス管理責任者が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3	1		・出来ている。特に担任の先生とは、学校での児童の様子を聞いたり情報共有を図り、関係性を作るようにしている。 ・新年度開始に合わせて、年間行事予定表を保護者に提出してもらっている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		4		・該当児なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	1		・就学前後等の児童の環境が大きく変わる時期は、保護者・相談支援も交え、通常のモニタリング時よりも細かな情報共有を丁寧に行い、支援計画作成に当たっている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		4			・低年齢の児童が多く、現段階では実例無しだが、その時期に当たる際は、児童・保護者とも相談しながら丁寧に移行を進めていきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2		・困難事例が上がった際の相談機関のひとつとして利用している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			4		・定期的な交流の場としては設けられていないが、外出の際には、こちらから地域の方々や児童らへあいさつを交わし、関わる機会を大切にしていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している			1	3	・今後は積極的に参加し、地域の課題を共に考えていきたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	1		・その日の様子を帰りの引き渡し時に毎回伝えている	・児童の様子の変化が見られた際には、連絡帳や送迎時などに情報共有を行い、新たな課題も早急に共通理解が図れるように努めていきたい。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	3		・出来ている保護者とそうでない保護者がいる。	・日々の悩みを共有し、児童のニーズや課題に対して保護者と共に寄り添いながら成長を支えていきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	1		・不安にならないよう、分かりやすく説明している。 ・受給者証の利用者負担額変更時には丁寧に説明し、行事等で利用者負担額が発生する場合には書面にて確認を取っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	1		・保護者の悩みの吐き出し口になれるよう心掛けている。	・送迎時や連絡帳だけでは共有できない場合もあり、適宜必要に応じて面談を設けたり、電話でも気軽に相談できるような体制を整えていきたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		2	2		・未実施のため、今後企画検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	1		・苦情は後回しにせず、出来るだけその日で解決・対応するよう努めている。	・児童から上がった声や保護者からの苦情も早急な対応を心がけ、職員間で改善点の共有を図り、繰り返すことがないよう努めていきたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	1		・便りを毎月発行している。	
	35	個人情報に十分注意している	4			・事務所から持ち出さないようにしている。	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			・各家庭の状況などによって電話や、書面、口頭での説明など、伝える方法は適宜変えている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			4	・事業所内の行事に招待するなどは行っていないが、近隣の清掃や散歩などで積極的に地域の方々との交流を心がけている。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	2	2		・通所するにあたっての「しおり」に記載している。	・定期的な避難訓練と同様に、マニュアルの読み合わせも定期的に行い、緊急時に迅速な行動が取れるよう努めていきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4			・避難訓練を定期的を実施	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	1	3		・小さなことでも、気になったことは職員間で共有している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1	2	1		・現在、対象児童はいないが、必要性が出た際には保護者や医療機関等との相談の上で身体拘束を含む支援方法を検討していきたい。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	1	3		・食物アレルギー無し	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	1		・共有している。 ・日々の振り返りでも、過去のヒヤリハット事例を参考に改善提案に繋げている。	